

The World's Most Beautiful 42 and 100 km Trail Run

モンゴル サンライズ・サンセット 42km・100kmトレイルラン 2020年8月12日開催

第22回モンゴル・サンライズ・サンセット・トレイルランが、モンゴル北部の奥地に位置するフスグル湖畔に世界各地から参加する自然愛好家ランナーを集めて開催されます。この大会では世界でも数少ない手つかずの大自然の雄大な光景が見渡せるコースで、100キロあるいは42キロのトレイルランにチャレンジします。ここではモンゴル特有の自然のみならず、現地の独特の文化に触れられることでしょう。

↓大会の様子がわかる動画をぜひご覧ください

[MS2S - one of the world's most beautiful ultra-trails!](#)

[Mongolia Sunrise to Sunset MS2S](#)

[MS2S 2018 - the 20 year anniversary!](#)



日程：8月8日－8月15日（ウランバートルで集合－解散）

8月8日昼、ウランバートル空港に集合し、700キロ離れたフスグル湖畔のトイログキャンプ場をめざして、航空機と車を取りついで全員一緒に移動します。レースは8月12日に開催されます。それまでの日々はトレーニング、ハイキング、乗馬、カヌー、マウンテンバイク、モンゴル音楽、その他、様々な催しを楽しみつつ、ランナーどうしの交流をお楽しみください。レース後は現地でリラックスしたのち、ウランバートルに移動、8月15日朝、解散となります。

費用・申込：2,420米国ドル（6月1日以降申し込みの場合）。各種割引があります。なお、申し込み時期に応じて早期割引価格が適用され、2020年2月末日までの申し込みの場合の費用は1,920米国ドルです。申し込み締切：6月15日。

詳しくは以下のページで確認ください。

以下のウェブサイトでオンライン申し込みを受付ます。レース参加は先着100名様までです。 www.ms2s.org

詳細および疑問点につきましてはウェブサイトを参照するか、以下の関係者にコンタクトし、確認してください。

世話人：南耕二 koji@ms2s.org

現地スタッフ：Shuree Shuree.sukhbaatar@ultramongolia.org

大会申し込み手続き、交通機関・前泊予約等、ご自身でおこなうことも可能ですが、日本から大会参加のためのこれらのすべての手配はホスピタリティーツアーズを通じて可能です。 <http://www.hpt.co.jp> ;メール ultra@hpt.co.jp 03-5467-7625



この大会の理念

モンゴル サンライズ・サンセット
・トレイルランは営利目的の大会ではありません。収益金はすべて、スイス・ジュネーブに本拠地をおくエコ・リープ基金に寄付されます。エコ・リープ基金はフブスグル国立公園における、環境に配慮した形での観光開発、自然保護および現地の伝統文化保存のために、資金援助、その他の活動を行っています。

レースの収益金はフブスグルの生活基盤整備および問題解決に向けて最新技術の導入に使われます。現在の主要課題は観光ビジネスから出る廃棄物の処理です。私たちはこれまでごみ収集車を寄贈し、ごみ収集及び教育プログラムを設立しました。その成果を目の当たりにしたモンゴル国・自然環境省は、現在ではモンゴル全土で同様のプログラムを実施しています。

この大会の行われるフブスグル国立公園は、モンゴルの首都、ウランバートルの北方700キロの北部モンゴル高原に位置し、世界でも比類のない辺境の地に美しい景観を展開しています。参加者は「ゲル」と呼ばれる移動式住居で宿泊し、集まったランナーどうし交流を深めるとともに、モンゴルの伝統的な生活様式を体験することができます。コース：この大会は、美しい田園風景と原始の自然を満喫できるトレイル・ランニング、ハイキングです。コースは、馬の踏み跡道と林道を利用して設定されていますが、ランナーは高山植物の花の咲き乱れるお花畑、険しい山道、タイガと呼ばれる針葉樹林を縫い、鮮やかな緑におおわれた丘陵地を越え、湖畔を走り抜けます。

高度：スタート地点標高1,625m、**42キロレース：**累積標高差2,255m、**100キロレース：**累積標高差 3,365m。
制限時間：42キロレース、100キロレースとも18時間。100キロレースのランナーは42キロ地点に8時間の時間制限を設けます。 **エイドステーション：**12-15キロメートル間隔で設営され、ボランティアと現地の医師がランナーを支援します。レースドクターが大会本部で待機します。

この大会の魅力

この大会の魅力を参加された方々の声から拾ってみます。

- 3人の子供と4人でMS2Sに参加しました。長男(23歳)は100kmに、長女(21歳)と私は42kmにチャレンジ、7歳の娘はモンゴルの大自然の中キャンプを満喫しました。上の子供たちが大きくなり、なかなか家族旅行をする機会がありませんが、今回MS2Sに参加して、本当に良かったと思っています。それぞれにとって一生に一度の素晴らしい体験・経験ができたと思っています(オルソン・ソフィーさん 2019年 42キロ完走)
- レースは真っ暗なうちにスタートしますが湖の湖畔を走っているときに息を呑むほどの朝焼けに出会えます。山を二つ超えるコースは初心者の方にとってはかなり厳しいものですが、ところどころに咲く高山植物に癒されたり、虫の羽音しか聞こえない野原を走り下りたり、他では味わえないレースを楽しむことができました。一つ目のエイドステーションで主人が迎えてくれたこと、最終ゴールしたあとの主人との握手も良い思い出になっています。(大西佳世さん 2019年 42キロ完走)
- コースは前半に2回の山越え、後半になだらかな峠があり、視界が開けた場所を走ることが多いので、日本のトレイルレースとは違った景色を楽しめました。ITRA認定レースでもあり、100kを完走すると4ポイントを獲得出来るので、旅行を兼ねてITRAポイントを貯められるレースを探している人にもオススメです(松本順さん 2018年 100キロ総合優勝)



費用(詳細)

公式旅行日程・費用：ウランバートルに集合－解散：2019年8月8－8月15日、
申込期限：2020年6月15日

費用（2月末日までに申込みの場合）

おとな 1,920米ドル

こども（5－15歳）1,020米ドル

幼児（2－4歳）620米ドル

乳児（2歳未満）無料

リピーター：200米ドル割引

同行者：200米ドル割引

レース・サポート・ボランティア：300米ドル割引

3月1日以降に申し込みの方には割増し料金をお願いしています。

3月1日－3月31日 おひとり様100米ドル割増

4月1日－4月30日 おひとり様200米ドル割増

5月1日－5月31日 おひとり様350米ドル割増

6月1日－6月15日 おひとり様500米ドル割増

キャンセルの場合は費用をご負担いただいております。3月31日以前は無料、

4月1日－5月31日 200米ドル、6月1日－6月30日 500米ドル、

6月30日以降 全額

上記代金は交通、宿泊、食事、茶、フスグル国立公園入場料、レース及びその前後に催されるすべての自由参加活動費用（乗馬、カヤック、カヌー、マウンテンバイク、ハイキング、ランニング）を含みます。空港使用料、ドリンクおよび居住地・ウランバートル間の旅費は含みません。

次の追加オプションが、さらにモンゴルを楽しみたい方のために用意されています。

フスグル湖周辺山岳地帯を乗馬トレッキングで巡る1週間（8月1－8日）：10歳以上の方のみ、費用：レースパッケージに2,060米ドル追加。
(申込締切4月30日)

申し込み

[こちらのウェブサイト](#)でオンライン申し込みを受け付けます。レース参加は先着100名様までです。

詳細および疑問点につきましてはウェブサイトを参照するか、以下の関係者にコンタクトし、確認してください。

世話人: 南耕二 koji@ms2s.org 現地スタッフ: Shuree Sukhbaatar Shuree.sukhbaatar@ultramongolia.org

大会の費用は銀行送金(振込先)もしくは、クレジットカードでの支払いになります。クレジットカードでのお支払いをご希望の場合には上記の世話人もしくは現地スタッフにメールでご依頼ください。手数料を含めた費用をお支払いいただく形になります。

大会申し込み手続きを含め、日本から大会参加のためのすべての手配はホスピタリティーツアーズを通じて可能です。

ホームページ: <http://www.hpt.co.jp> メールでのお問合せ: ultra@hpt.co.jp 電話: 03-5467-7625 ファクシミリ: 03-5467-7626

ホスピタリティーツアーズによる日本からのツアー [こちら](#)

----- これまでの参加者の方々に感想文をいただいています -----

岸泰生さん 2019年 100キロ総合2位

モンゴルのガイドブック(Lonely Planet)から本レースの存在を知り、挑戦してみようと思い立ちました。それまではフルマラソンを数回走った程度でトレイルランニングの経験すらなく、1名での参加だったこともあり大変不安でしたが、結論は「参加してよかった！」でした。本レースは、私のようなトレイルラン初心者からベテランまで多くの参加者にとって、唯一無二の経験となることは間違いありません。まず特筆すべきは、本レースコースやキャンプがあるKhovsgol湖周辺の雄大な自然です。シベリアタイガ地帯の南端にあり、豊かな山林と極めて透明度の高いKhovsgol湖、更には点在する草原の草を食むヤクや馬の群れなどを間近に見ることができます。湖面に登る朝日や、その朝日に照らされる西部の山脈の美しさには言葉を失います。レースコースは変化に富んでおり、砂利道、苔むす山林、草に覆われた斜面、湿地帯や青く輝く湖畔など、次々に表情を変える自然の風景を楽しみながら走ることができます。あれだけの大自然の中を自由に走れるのは、モンゴルならではの楽しみではないでしょうか。また、レース前後の時間は全て、この大自然を楽しむために充てられます。乗馬や軽いランニング、トレッキングなど、思う存分自然を味わい、心身を充電することができます。次いで強調したいのは、世界中からの参加者との交流です。世界各国からの参加者は年齢層も幅広いのですが、話下手な私にも皆、笑顔で接してくれました。また、食事や乗馬などの活動を共にしながら、同じキャンプで何日も過ごしていると、不思議と一体感が生まれてくるのは不思議です。そしてレース当日は、ゴール周辺に先にレースを終えたランナーたちが集い、ゴールするランナー達に力強い声援を送ってくれます。私がゴールした時も、口々に"Congratulation!"とランナーに声をかけ、握手してくれました。くたくたになりながらも、至福を感じた瞬間です。日本からの参加者の方々にも大変親切にいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。また、レース中は、地元の方々および参加者の関係者の方々がレースをサポートして下さいます。最も印象的だったのは、レース中に道に迷いそうになった時、馬に乗った地元の2人の少年が、「こっちだよ」と道案内をしてくれたことです。補給不足でよたよたしていた私にとって、どれだけ励みになり助かったことか！他にも、多くのボランティアの方々がレースを支え、励ましてくれます。地元の人々と一体になったレースの「手作り感」が感じられるのも、本レースの特徴ではないかと思えます。本レースが開催される場所であり宿泊場所でもあるKhovsgol湖畔のToiligtキャンプは、通常の団体旅行や個人旅行ではまず訪れることはないであろう遠方にあります。このようなレースイベントにでも参加しなければ、ほぼ訪れる機会はないでしょう。ありきたりの観光地巡りでは飽き足らない旅行者にとっても、馴染みのない地域の貴重な自然や文化を感じられるのは大きな魅力です。このように、MS2Sはモンゴルの大自然に興味がある方、自然の中を走ったり歩いたりするのが好きな方、皆様にお勧めできるレースです。私自身、大変貴重な経験をさせていただきました。日本からも更にも多くの方々が参加され、大自然やトレイルランニングの楽しさを味わっていただければと思います。

参加者の方々の感想 (続き)

オルソンソフィーさん 2019年 42キロ完走者

今回、3人の子供と4人でMS2Sに参加しました。長男(23歳)は100kmに、長女(21歳)と私は42kmにチャレンジ、7歳の娘はモンゴルの大自然の中キャンプを満喫しました。私は趣味程度のマラソン歴、長男は高校の時に中距離(5km)を走ったのみ、長女はトレーニングジムのトレッドミルで30分ほど走る程度。それでも、各自数か月前からトレーニングを重ねて、それぞれゴールすることができました。この先何があってもこの辛さを思い出せば乗り切れる、と感じられるほど厳しくて価値のある体験でした。コースはとでもタフでしたが、大自然をそのまま体感できる素晴らしいルート。一緒に走った人たちの支えやエイドステーションのボランティアのおかげで何とか完走できました。100kmに挑戦した長男を夜遅くにゴール地点ですずっと待っていましたが、カットオフにギリギリだったので、遠くにヘッドランプの明かりが見えてきた時には、本当に感動でした。下の娘は乗馬が気に入り、毎日午前と午後に乗馬を楽しみ、キャンプでモンゴル人の子供たちとも仲良くなり、一日中外で元気に遊んでいました。ゲルは広くて暖かく、清潔な温水シャワーもあり、快適な毎日を過ごせました。食事美味しく、毎食楽しみにしていました。上の子供たちが大きくなり、なかなか家族旅行をする機会がありませんが、今回MS2Sに参加して、本当に良かったと思っています。それぞれにとって一生に一度の素晴らしい体験・経験ができたと思っています。

ご長男 Kaiさん 2019年 100キロ完走者

17時間53分。MS2Sマラソンを完走するのにかかった時間です。一見遅くて、18時間以内でゴールするために時間を計算して走ったように見えるかもしれませんが、どう考えてもこれがベストのタイムでした。体力的な準備は不十分な上、レース中は苦闘と絶望感に襲われていました。ですが、思い起こしてみると、ゴールしたときの喜びと、モンゴルの壮大な自然しか心に浮かびません。ここで経験した達成感と満足感は一言で言い表せるほど簡単ではありません。またこの経験を通して僕は二人の人に感謝しています。このクレイジーなマラソンに自分を連れてきた母と、ゴールまであきらめずに前に進めさせてくれた南さんです。この二人が居なければ、完走するという夢は現実にならなかったでしょう。僕にとって素晴らしい学習経験で、次のチャレンジが楽しみです。

ご長女 Mioさん 2019年 42キロ完走者

このマラソンは、私のこれまでの人生の中で体力的に最も厳しかったけれど、価値ある試みでした。思い起こしてみても、未だにこの素晴らしいレースを完走できたことが信じられません。最初から最後まで「一歩ずつ」とマインドセットして覚悟を決めて挑みました。疲労困憊し、何度も座ろうと思いましたが、次のエイドステーションまで頑張ろう、そこで美味しい塩ポテトを食べよう、を心の支えにし、また地元ヘルパーさんの暖かい励ましによりどうにか前に進みました。肉体的なチャレンジとは別に、コースの景色の美しさは真の自然で息を飲むもので、それだけでも価値がありました。レース中何度も、立ち止まり周りの壮大な山々を眺めとてもピースフルな気持ちになりました。このマラソンは難しいレースですが、チャレンジしたい人には一生に一度の素晴らしい経験になること間違いなしです！

大西佳世さん 2019年 42キロ完走者

10キロ超の距離を走ったことなし、トレイルラン・海外マラソンともに未経験。同級生から誘われた際は、全く参加するつもりはなかったのですが...MS2Sサイトの動画を何気なく見ていたところ気持ちが一転。美しい湖を見ながら自然の中を走ってみたい衝動に駆られました。さっそく主人を誘い、ランニングをしない主人はエイドステーションでのボランティア参加となりました。レースは真っ暗なうちにスタートしますが湖の湖畔を走っているときに息を呑むほどの朝焼けに出会えます。山を二つ超えるコースは初心者私の私にとってはかなり厳しいものでしたが、ところどころに咲く高山植物に癒されたり、虫の羽音しか聞こえない野原を走り下りたり、他では味わえないレースを楽しむことができました。制限時間が長くってあるのも魅力で、42キロを完走することができました。一つ目のエイドステーションで主人が迎えてくれたこと、最終ゴールしたあとの主人との握手も良い思い出になっています。ご夫婦で走るのももちろん素敵ですが、どちらかがレースに参加するというご夫婦にもオススメです。走らない方はエイドステーションでボランティアをして相方を励ましてあげよう！

参加者の方々の感想（続き）

大西佳世さん(続き)

楽しみにしていたゲルでの寝起きも快適。初日の晩に停電があったのですが、夜空に天の川をみることができました。（停電は初日の1回きりでした）夫婦二人とも英語を話せないことが1番の不安だったのですが、日本の世話人の南さん始め英語のできる方がフォローしてくれましたし、各国からの参加者が皆フレンドリーで十分楽しむことができました。主人は、観光名所のない静かなキャンプで想像以上にデトックスできたようです。このような機会がなければなかなか旅行先の候補に上がることのない国モンゴル。夫婦で参加してみたいかでしょうか。

松本順さん 2018年 100キロ総合優勝

この大会はITRA(国際トレイルランニング協会)のHPで検索して見つけました。モンゴルは初めてで、草原が広がるイメージでしたが、コースの周りには湖と山が広がり、晴れていると景色は絶景です。ツアースケジュールのちょうど中間点の水曜日にレースが行われるため、前後は何もない湖畔でゆっくり過ごせ、快適な気候も相まってリラックス出来ます。食事はツアー参加者と食堂棟で取りますが、これが毎回とても美味しく(モンゴルだけにラムが多い)、特に最後の日はお寿司が出たのに感動しました。コースの距離に対し、参加人数が多くないため、途中からはほぼ全員が単独走になると思いますが、木の幹にペンキで記されたマーキングをたどっていけば、まあ何とか迷わずゴール出来ます。100kの場合、コースは前半に2回の山越え、後半になだらかな峠があり、視界が開けた場所を走ることが多いので、日本のトレイルレースとは違った景色を楽しめました。成田とウランバートル間は直行便があり約5時間のフライト、かつ時差が1時間しかないので、体力的には楽でした。また、この大会はITRA認定レースでもあり、100kを完走すると4ポイントを獲得出来るので、旅行を兼ねてITRAポイントを貯められるレースを探している人にもオススメです。

静間利行・知加ご夫妻 2018年42キロ完走者(65キロ地点まで走破)

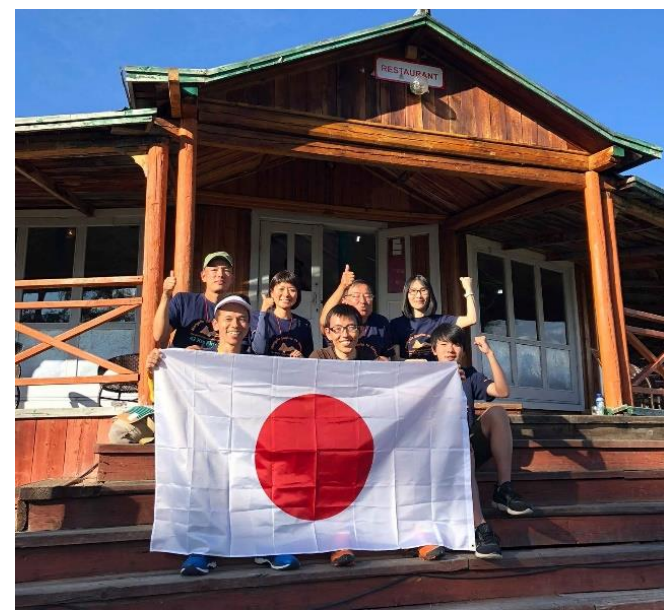
「MS2S」は、私達夫婦にとって初めてのトレラン、初めての海外レースでした。夫婦揃って英語はほとんど話せず、モンゴルの知識といえば相撲が強いくらいだったので、かなり不安もありましたがランナー仲間の温かい後押しもあり、思い切って挑戦しました。レースは、トレラン初心者の私達にはハードでしたが、スタートして間もなく美しい日の出を眺めながら山道へ、その後も林道やお花畑、壮大な大草原の中を駆け抜ける、すべてが新鮮でした。そしてなによりも約12kmごとに設置されている各エイドステーションではボランティアの方々が温かく迎え入れてくれ、熱い声援に力をもらいました。私達は100kmに挑戦しましたが、残念ながら力及ばず65km地点でエーデルワイスを眺めながらドロップアウト。でも42km地点までの完走は認められ「42km Finisher」と認定されました。また今大会100km部門の優勝者が日本人で、自分達のこのように嬉しく誇らしかったです。「MS2S」は、私達夫婦にとって初めてのトレラン、初めての海外レースでした。夫婦揃って英語はほとんど話せず、モンゴルの知識といえば相撲が強いくらいだったので、かなり不安もありましたがランナー仲間の温かい後押しもあり、思い切って挑戦しました。レースは、トレラン初心者の私達にはハードでしたが、スタートして間もなく美しい日の出を眺めながら山道へ、その後も林道やお花畑、壮大な大草原の中を駆け抜ける、すべてが新鮮でした。そしてなによりも約12kmごとに設置されている各エイドステーションではボランティアの方々が温かく迎え入れてくれ、熱い声援に力をもらいました。私達は100kmに挑戦しましたが、残念ながら力及ばず65km地点でエーデルワイスを眺めながらドロップアウト。でも42km地点までの完走は認められ「42km Finisher」と認定されました。また今大会100km部門の優勝者が日本人で、自分達のこのように嬉しく誇らしかったです。



2019年日本チーム



2019年42km完走
Sophieさん、Mioさん



2018年日本チーム



2019年100km完走Kaiさん



2019年42km完走
金浦さん



2018年100km総合優勝 松本さん



フブスグル湖畔での乗馬



フブスグル湖でのカヤック



ラン表彰式



トイログキャンプ場



モンゴル音楽鑑賞



フブスグル湖クルーズ



コース案内をするホースマン



モンゴル人ランナー



フブスゲル湖畔の風景



フブスグル湖畔の風景